

戸塚町四丁目南町会の地域猫（当初はノラ猫）対策事業

2022年1月記

2007年以前:

ノラ猫対策について苦情や要望はあり、保健所を呼んで会を開いたり、町会だよりで協力者の呼びかけがなされたが、実現にはいたらなかった。

隣町の高田馬場南親睦会は、町会事業として大成功を収めていて、再三にわたり活動の誘いがあった。

活動開始:

2007年11月の世話人会で「環境事業」として活動開始を決める。

チラシ配布後すぐに、3人の協力者(苦情者)を得て、12月13日から捕獲開始、以後TNRをくり返す。

約1年半で殆どの猫の手術を終了。その後は他からやってくる猫、出入り自由の飼い猫、未手術の飼い猫から産まれた子猫の対処、糞尿対策、餌やり対策などをしてきた。現在までのTNRは163匹(近隣町会を含むと214匹)。

現在: 町内7箇所の餌場に約12匹がいる。餌場では、担当の方に“定時定点”の餌やりと、後かた付けをお願いしている。最近が高齢猫の怪我・行き倒れや死亡、また迷い猫や捨て猫などもある。2009年以降、町内での地域猫の出産はないが、外部から来る猫や出入り自由の飼い猫の出産はあるので、見守りが必要である。TNR後のMが現在の状況である。

T(trap 捕獲) N(neuter 不妊手術) R(return 返す) + M(manage 管理)



町内でもっとも被害の大きかった駐車場では、20匹くらいの猫がいて毎年の出産を繰り返していた。TNRをした後、オーナーにお願いして猫トイレを置いた。町内の工務店が作ってくれたトイレは、据え置き式と移動式小型(写真右)の2種類7個。

費用: 2008年時、町会環境費から3年計画で60万円(1年目30万円、2年目20万円、3年目10万円)が組まれた。町会長、環境部、広報部、会計を中心とした英断だった。

4年目、「地域猫対策部」が新設され10万円が計上された。(その後5万円に)活動の広まりに従って、寄付が続き、寄付金だけで運営してみるようになった。

寄付金収入の内訳は、【町会への寄付金、戸塚地区協会の募金配分、バザーの売り上げなど】である。

現在までの寄付総額:2,777,057円 延べ333名からである。

広報: 「戸四南町会ねこ便り」を年5回(現在は4回)町会員各戸に配付、町内12か所の掲示板にも掲示している。2021年12月からは町内2箇所に「自由にお取り下さい」ボックスを設置して、町会員以外の方にも見ていただいている。また、環境省でのプレゼンテーションや、区内でのセミナー、ノラ猫相談会などで町会の地域猫活動を発表したり、ラジオ、テレビ、新聞、などの取材も受け、町会の地域猫活動を発信している。

資料:

	手術数(匹)	妊娠数(件)	出産数(件)
1年目(2007年12月~2008年)	84	12	3
2年目(2009年)	38	2	1
3年目(2010年)	11	0	0
4年目(2011年)	10	0	0
5年目(2012年)	1	0	0
6年目(2013年)	1	0	0
7年目(2014年)	2	0	0
8年目(2015年)	4	0	0
2016年~2022年1月	12	1	0

TNRの記録を見ると、2年目には、町内にいるほとんどの猫の手術が終わったことがわかる。手術をしておく、まだ猫はいるが子猫が生まれることはなくなった。活動開始時期が猫の発情期と重なったので、多くの出産を防ぐこともできた。

3年目からは、春先に新顔のオスが町内にやって来ることが多かったが、TNRをしてリリースすると後は現れないことが多く、自分のテリトリー(町外)に帰っていくようだった。